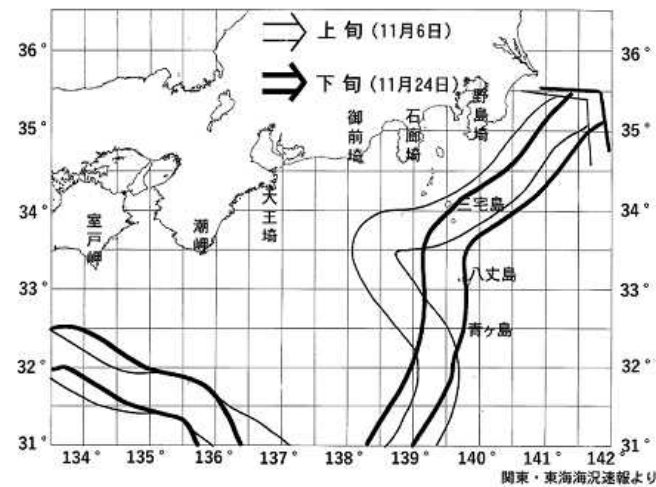


漁海況月報

令和5年11月1日

No. 11 ~11月30日

静岡県水産・海洋技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



11月定地水温の旬平均値(°C) (下段は平年値*からの偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	21.6	22.0	21.8	23.0	21.7	21.6
	1.0	0.8	1.0	2.0	0.8	0.8
中旬	20.4	20.8	20.5	21.8	20.0	20.2
	0.8	0.6	0.6	1.6	0.0	0.4
下旬	18.9	19.1	18.5	19.6	18.5	18.9
	0.1	-0.4	-0.6	0.4	-0.6	0.0
月	20.3	20.7	20.3	21.5	20.1	20.2
	0.6	0.5	0.4	1.3	0.0	0.4

*平年値：過去30年(平成3年~令和2年)平均値

【黒潮流路】

11月を通じてA型で、潮岬沖で大きく離岸した後、上旬は駿河湾沖まで、中旬~下旬は三宅島付近まで北上する流路となった。

上旬は潮岬沖で大きく離岸し、遠州灘沖31.0°N付近から駿河湾沖34.0°NまでS字状に北上した後東進し、三宅島付近を通過して北東に流去した。暖水波及が石廊崎沖の黒潮北縁から大島西水道に向けて見られた。

中旬は潮岬沖で大きく離岸した後東進し、石廊崎沖31.0°N付近から三宅島付近34.0°Nまで北上した後、三宅島付近を通過して北東に流去した。暖水波及が石廊崎沖の黒潮北縁から大島西水道に向けて見られた。

下旬は潮岬沖で大きく離岸し、遠州灘沖30.5°N付近から三宅島付近33.5°Nまで北上した後、三宅島~八丈島間付近を通過して北東に流去した。

【沿岸域水温】

上旬は曇見で「高め」、それ以外の地点で「やや高め」であった。中旬は沼津、焼津で「平年並」、伊東、稲取、下田で「やや高め」、曇見で「高め」であった。下旬は下田、沼津で「やや低め」、伊東、稲取、曇見、焼津で「平年並」であった。

【竿釣カツオ】

11月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚げは27.4トンで前年同月(23.6トン)の1.2倍であった。平均単価は612円/kgで前年同月(553円/kg)を上回った。

漁場は34°N、138°Eの駿河湾沖などで、御前崎港に水揚げされたカツオの尾叉長組成は小(尾叉長46cm)が主体であった。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(トン)	水揚げ隻数	平均水揚量/隻(トン)	平均単価(円/kg)
R5年11月上旬	8.1	4	2.0	641
中旬	7.5	4	1.9	697
下旬	11.8	3	3.9	538
R5年11月計	27.4	11	2.5	612
R4年11月計	23.6	11	2.1	553
R3年11月計	51.9	25	2.1	494

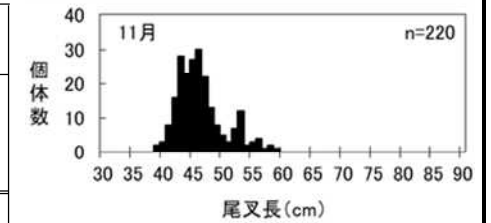


図 御前崎港で測定したカツオの尾叉長組成

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は277.5トンで、前年(187.9トン)の1.5倍、平年(265.9トン)の1.0倍であった。また、1か統当たりの水揚量は46.2トン(前年:26.8トン、平年:38.0トン)であった。水揚量の多い漁場は、伊豆山漁場(89.8トン、さば類、マイワシ、マルソウダ)、次いで北川漁場(62.1トン、ヤマトカマス、マルソウダ、さば類)であった。なお古網漁場については資源管理休業のため11月は操業がなかった。

多獲された魚種の水揚量は次頁(表)のとおりで、マルソウダは50.1トンで、前年比2.2倍、平年比1.5倍であった。さば類は40.2トンで、前年比2.3倍、平年比59%であった。水揚げされたさば類のうち、マサバは4.9トンで、前年比1.7倍、平年比2.1倍、ゴマサバは35.4トンで、前年比2.4倍、平年比53%であった。さばっこ銘柄(マサバ、ゴマサバ当歳魚)は25.7トンで、前年比6.0倍、平年比8.6倍であった。ヤマトカマスは34.5トンで、前年比6.1倍、平年比7.7倍であり、11月の水揚量としては1982年以降最も多く、引き続き好調であった。カンパチは18.8トンで、前年比3.9倍、平年比11.6倍で、11月の水揚量としては1982年以降最も多かった。マイワシは16.2トンで、前年比12.5倍、平年比1.4倍であった。

多獲された魚種の主な漁場は、次頁(表)のとおりで、各漁場の水揚量の割合は、マルソウダでは伊豆山漁場が24%(12.0トン)、北川漁場が24%(11.8トン)、谷津漁場が18%(9.2トン)、川奈漁場が15%(7.3トン)、さば類では伊豆山漁場が46%(18.4トン)、北川漁場が21%(8.6トン)、川奈漁場が21%(8.3トン)、ヤマトカマスでは北川漁場が65%(22.2トン)、伊豆山漁場が17%(5.9トン)、カンパチでは赤沢漁場が34%(6.4トン)、富戸漁場が33%(6.3トン)、伊豆山漁場が26%(5.0トン)、マイワシでは伊豆山漁場が82%(13.3トン)、赤沢漁場が18%(2.9トン)であった。

*平年：昭和57年~令和4年の平均値

多獲された魚種の水揚量と主な漁場

魚種	水揚量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
マルソウダ	50.1	2.24	1.52	伊豆山、北川、谷津、川奈
さば類	40.2	2.27	0.59	伊豆山、北川、川奈
ヤマトカマス	34.5	6.07	7.69	北川、伊豆山
カンパチ	18.8	3.87	11.61	赤沢、富戸、伊豆山
マイワシ	16.2	12.54	1.40	伊豆山、赤沢

[サバたもすくい・棒受網]

小川港所属の棒受網漁船は月を通じてたもすくい漁業主体で操業し、漁場は月を通じて大島千波に形成された。水揚量はゴマサバ151トン(前年同月比76%)であり、1隻当たり水揚量は7.6トン(前年同月比66%)であった。マサバの水揚げは無かった(前年同月水揚げ無し)。1kg当たり平均単価は207円と前月(156円)、前年同月(150円)をともに上回った。漁獲物の体長組成は、33cmにモードを持つ単峰型を示した。

小川港 さば類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

期間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		平均単価(円/kg)		漁場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
R5年11月上旬	-	46	5	7	-	6.5	-	178	大島千波
中旬	-	44	3	5	-	8.7	-	228	大島千波
下旬	-	62	4	8	-	7.7	-	213	大島千波
R5年11月計	-	151	12	20	-	7.6	-	207	大島千波
R4年11月計	-	198	11	17	-	11.6	-	150	大島千波
R3年11月計	0	136	8	9	-	17.1	-	138	利島、大島千波

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

*表中の「-」は水揚げがなかったことを示す。

[サクラエビ船曳網]

令和5年の秋漁は11月1日が初漁日であった。11月の出漁日数は7日、水揚量は39.7トンであった(前年同月の出漁日数は9日、水揚量は78.4トン)。主漁場は焼津沖～榛原沖であった。水揚げされたサクラエビは体長31～32mmにモードを持つ当歳エビと40～41mmにモードを持つ1歳エビで構成されていた。

サクラエビ水揚量

期間	水揚量(トン)	日数	漁場
R5年11月上旬	11.7	3	焼津沖～榛原沖
中旬	10.5	2	大井川沖～榛原沖
下旬	17.5	2	焼津沖～榛原沖
R5年11月計	39.7	7	焼津沖～榛原沖
R4年11月計	78.4	9	大井川沖～相良沖
R3年11月計	62.1	9	大井川沖～相良沖
R2年11月計	58.2	9	焼津沖～相良沖

[シラス船曳網]

県内主要6港における1日1か統当たりの水揚量は、遠州灘(新居、舞阪、福田、御前崎)が66kg、駿河湾(吉田、用宗)が82kgであった。平均水揚量は75kgで前年同月(67kg)の1.1倍、平年同月(過去5か年平均:163kg)の46%であった。また、総水揚量は61.9トンで前年同月(39.3トン)の1.6倍、平年同期(171.8トン)の36%で前年を大きく上回り、平年を大きく下回った。平均単価は2,075円/kgで前年同月(1,931円/kg)の1.1倍、平年同月(1,057円/kg)の2.0倍と、前年並で、平年同月を大きく上回った。

主要6港のシラス水揚量(主要6港)

漁港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均水揚量(kg/統)	平均単価(円/kg)	
遠州灘	新居	2.2	6	26	83	1,595
	舞阪	12.0	6	195	62	1,890
	福田	6.9	6	123	56	2,630
	御前崎	4.7	5	45	104	1,615
駿河湾	吉田	22.1	9	230	96	2,033
	用宗	14.0	11	209	67	2,252
R5年11月計	61.9	43	828	75	2,075	
R4年11月計	39.4	36	589	67	1,931	
R3年11月計	219.1	56	1,219	180	757	

*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

*平年:過去5か年(平成30～令和4年)平均値

[まき網(いわし類)]

マイワシの水揚量は、伊東港では16.2トン(前年水揚げなし、平年同月比26%)、沼津港では0.1トン(前年同月0.3%、平年同月比0.1%)、小川港では5kg(前年同月0.1%、平年同月比0.1%)、静浦港では水揚げがなかった。カタクチイワシは、小川港では1kg(前年、平年水揚げなし)、伊東港、静浦港、沼津港では水揚げがなかった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網7か統の水揚量は、マイワシは14.0トン、カタクチイワシは水揚げがなかった。

*平年:過去5か年(平成30～令和4年)平均値

[調査船駿河丸の動向]

11月5日	魚(とと)フェス一般公開	(1日間)
11月8日～11月9日	地先定線観測調査	(2日間)
11月14日～11月15日	さば類音響調査	(2日間)
11月21日～11月22日	いわし類卵稚仔分布調査	(2日間)
11月27日～11月28日	BISHOP 深海採水調査	(2日間)

静岡県水産・海洋技術研究所のホームページ

パソコンからは…… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と
関東・東海海況速報を見ることができます。

